

英語授業の充実に向けた言語活動例

「学校の新しい生活様式」に対応した授業において、多くの先生から「生徒同士の『やり取り』が難しい」という声を聞きました。そこで、今号では、学校再開後の英語授業の充実に向けた言語活動例を紹介します。

生徒同士の「やり取り」が難しい状況下においても、大切な視点は「言語活動を通して」授業を進めていくことであり、「書くこと」を通して表現することがポイントです。コミュニケーションの目的や場面を設定し、実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動をどのように授業の中に組み込んでいくか、工夫することが大切です。



岡山県マスコット
「うらっち」

「読むこと」、「書くこと」を統合した言語活動例

◇SNSのチャット形式で会話をする活動

【場面】友達と好きな給食メニューについて、SNSのチャット様式を通じて会話をする。

【流れ】

- ・双方向の吹き出しがあるワークシートに、好きな給食メニューについて、ペアで英文を書き合う。
- ・終了したら、相手の書いた内容をまとめる。

【工夫】

- ・生活に身近な場面を設定し、自分の考えや気持ちを伝えやすくする。



※別紙1参照

◇お互いの考えや気持ちを読み合う活動

【場面】SNS上に公開する外国人向けの地域のオススメスポットを紹介した英作文を読み、コメントを投稿する。

【流れ】

- (宿題：「我が地域のオススメスポット」についての英作文を書いておく。)
- ・授業時、グループ内で、数名の英作文を読み合い、その感想をコメントとして書く。
 - ・友達からのコメントに返信コメントを書く。

【工夫】

- ・身近な話題を設定し、読む活動を通して、自分の考えや気持ちを伝え合うようにする。



※別紙2参照

「話すこと[発表]」、「聞くこと」、「書くこと」を統合した言語活動例

◇自分の考えや気持ちを伝えるスピーチ

【場面】友達に、スピーチ形式で自分のステイホーム中の過ごし方について伝える。

【流れ】

- ・1人ずつ前に出て、写真や絵を示しながら、スピーチをする。
- ・他の子供たちは、スピーチを聞いた後、感想や質問をノート等を書く。

【工夫】

- ・自分のスピーチを録音録画して、振り返りや改善を行いやすくする。
- ・お互いが興味のある話題を設定し、話す活動を通して、自分の考えや気持ちを伝え合うようにする。



◇ALTの動画メッセージの内容を聞き取る活動

【場面】東京オリンピックで注目する選手について、ALTが紹介した動画の内容を聞き取る。

【流れ】

- (教師：ALTの動画メッセージを準備する。)
- ・授業で、教師と一緒に動画メッセージを見て、内容を確認する。
 - ・ALTが紹介した選手について、尋ねたい質問を作る。

【工夫】

- ・既習表現だけでなく、これから学ぶ表現を意図的に含めるようにして、今後の学びにつなげる。



マスク着用やソーシャルディスタンスの確保等に加え、声量の調整や顔の向きの方策等で、言語活動の実現を図ることは可能です。指導計画に沿った学習を進めると共に、「やり取り」の要素を含めた言語活動をどのように工夫するか、先生方でアイデアを出し合って授業を進めていきましょう。



岡山県マスコット
「ももっち」